



航空自衛隊希望者へ向けた百里基地見学会



自衛隊東京地方協力本部八王子地域事務所（所長 森3陸佐）は9月13日、茨城県の百里基地において航空自衛隊希望者7名に対し、航空自衛隊への興味・関心をさらに高めるため、基地見学会を実施した。

参加する対象者は航空自衛隊への入隊を強く希望しているものの、実際の職場や、戦闘機等の装備品も身近で見学したことが無いため非常に楽しみにしている様子であった。当日は、百里基地広報室の案内のもと、基地の資料館において百里基地の概要説明、屋外の展示機の見学から始まり、体験喫食、管制塔見学、格納庫においてF-2戦闘機、救難機見学を実施した。

特に、格納庫での見学では、戦闘機のエンジン音、排気熱の迫力に驚き、一同興奮した様子を見せるとともに、救難機見学の場面では、救難員の体力・技術・使命感に尊敬の念を覚え、彼らの常に実任務を意識した行動により日本の防衛の最前線を垣間見ることができたようだった。参加者からは、「自分が働く職場のイメージができ、早く入隊し、一人前の自衛官になりたいと感じた。」といった声の間が非常に好評であった。

八王子地域事務所では、この厳しい募集環境の中、あらゆる手段を尽くして、対象者等のフォローを継続するとともに、駐屯地・基地見学により自衛隊の魅力を少しでも伝え、自衛官募集業務に繋げたいと考えている。



東京音楽隊と高校生がコラボ演奏



自衛隊東京地方協力本部世田谷募集案内所（所長 巻口3陸佐）は9月18日、駒澤大学記念講堂で開催された、海上自衛隊東京音楽隊（隊長 植田哲生2海佐）と駒澤大学高校吹奏楽部のスペシャルジョイントコンサートにおいて広報を実施した。

駒澤大学高校は海上自衛隊東京音楽隊がある敷地に隣接しており、時折、張りのある美しい音色が聴こえてくることも。そのような縁もあって、14年ぶりに合同演奏会が開催された。

演奏会は3部構成で実施され、第1部は駒澤大学高校吹奏楽部による演奏、第2部は海上自衛隊東京音楽隊による演奏、第3部では合同演奏が行われた。「ふるさと」が演奏されると、隊員と吹奏楽部員が合唱し、会場は大いに盛り上がった。

また、演奏会開演前や幕間に、ロビーに設置した広報ブースにおいて、制服試着や広報動画の放映、パンフレットの配布、広報アンケート等を実施したところ、高校関係者や中学生・高校生とその保護者がブースを訪れ自衛隊の活動等に注目していた。

参加した吹奏楽部員や来場者からは、「大変貴重な経験でした」、「素晴らしい演奏会で感動しました」などの意見が聞かれ、自衛隊に対する理解の促進が図れた様子であった。

世田谷募集案内所では、今後も学校や募集対象者のニーズに応じたイベントを実施して防衛省・自衛隊に対する理解を深め、職業選択の一つとしてもらえるよう精力的に活動を行っていくとしている。

